

☆世界同時革命・世界革命戦争
世界プロレタリア独裁
共産主義勝利！
共産主義者同盟

3月10日
第52号
編集発行人 南 安明
一部 30円
定価 12冊 600円 34冊 1000円
77冊 800円 77冊 1200円

蜂起

蜂起社
発行所 蜂起社
東京都千代田区千代田5-16-1
北村第一ビル内
TEL 03(446)8822
(銀座) 東京 1512

3・12 法制審議院
3・13 「爆取」アヤマリ
3・14 粉砕救済会
3・22 闘争集会
3・26 第11回アヤマリ
3・27 防衛医大粉砕闘争

日本武装闘争の第二段階を 全武闘派の総反撃で切開け

なぜ機能的軍事思想との闘いが問われているのか？
「全武闘派」の総反撃は、日本武装闘争の第二段階を切開けようとするものである。この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。この総反撃は、日本武装闘争の第二段階を切開けようとするものである。この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。

日本武装闘争の第二段階とは、第一階段の「武装闘争の準備」を経て、第二階段の「武装闘争の展開」である。この第二階段は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。この総反撃は、日本武装闘争の第二段階を切開けようとするものである。この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。

この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。この総反撃は、日本武装闘争の第二段階を切開けようとするものである。この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。

なぜ機能的軍事思想との闘いが問われているのか？
「全武闘派」の総反撃は、日本武装闘争の第二段階を切開けようとするものである。この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。この総反撃は、日本武装闘争の第二段階を切開けようとするものである。この総反撃は、単なる軍事行動の再開ではなく、政治的・思想的な総反撃である。

プロレタリアの絶対戦争を 世界革命戦争で絶滅せよ

プロレタリアの絶対戦争を世界革命戦争で絶滅せよ。これは、世界革命戦争の絶滅を目的とするものである。この絶滅は、単なる戦争の停止ではなく、政治的・思想的な絶滅である。この絶滅は、世界革命戦争の絶滅を目的とするものである。この絶滅は、単なる戦争の停止ではなく、政治的・思想的な絶滅である。

3・9	北熊本爆取裁判	(三共士)	10時	地裁	スケジュール判
3・11	北熊本爆取裁判	(木下)	10時	地裁	
3・13	72年10・21裁判			出張等間	
3・29	71年10・21練馬直撃裁判		1時	地裁	

刑法全面改正に對決し 七〇年代後半の革命的激動を！

(上)

「日本の革命闘争の歴史は、日本の政治史と不可分なものであり、その中で最も重要な位置を占めている。それは、七〇年代後半の革命的激動である。この激動は、日本の政治、社会、文化に深い影響を及ぼすであろう。我々蜂起は、この激動を捉え、その中で日本の未来を切り拓いていくことを目指している。刑法の全面改正は、この激動の中で最も重要な課題の一つである。我々蜂起は、この改正に對決し、日本の未来を切り拓いていくことを目指している。

刑法改正の動向

日本の刑法改正の動向は、七〇年代後半に大きく変化を遂げた。従来の刑法は、戦後民主主義の原則に基づき、個人の自由と権利を保護することを目的として制定された。しかし、七〇年代後半には、社会主義思想の浸透や、犯罪の多発化などにより、従来の刑法では対応が困難となった。政府は、この状況を踏まえ、刑法の全面改正を断行した。改正の方向性は、犯罪の予防と抑止の強化、被害者の権利保護の徹底、そして社会正義の実現にある。

過渡期世界とフアンス

過渡期世界とフアンスの関係は、現代国際政治の重要な課題の一つである。フアンスは、冷戦終結後の世界で重要な役割を果たしている。その役割は、国際法の発展と強化、民主主義の促進、そして世界平和の維持にある。フアンスは、自国の利益だけでなく、世界の利益も考慮し、積極的に国際社会に参加している。この姿勢は、世界に大きな影響を与えている。我々蜂起は、フアンスのこのような姿勢を高く評価し、その発展を願っている。

軍産学複合体制の強化を許すな

軍産学複合体制の強化は、日本の未来にとって重大な脅威である。この体制は、軍事産業と学術研究を結びつけ、国家の発展を促進する目的で導入された。しかし、この体制の強化は、社会の公平性を損ない、個人の自由と権利を脅かすことになる。我々蜂起は、この強化を許さず、軍産学複合体制の解体を要求している。国家の発展は、科学技術の進歩と個人の自由と権利の保護の上に成り立つべきである。

防衛医大を葬り去れ！

防衛医大の存在は、日本の民主主義と人権の保障にとって重大な脅威である。この大学は、軍事目的のために設立され、その教育内容は、戦争の美化と軍国主義の復活を促すものである。我々蜂起は、この大学の存在を許さず、その閉鎖を要求している。日本の未来は、平和と民主主義の道にあり、戦争の美化や軍国主義の復活は、日本の未来にとって容赦不能の悪夢である。

「日本の革命闘争の歴史は、日本の政治史と不可分なものであり、その中で最も重要な位置を占めている。それは、七〇年代後半の革命的激動である。この激動は、日本の政治、社会、文化に深い影響を及ぼすであろう。我々蜂起は、この激動を捉え、その中で日本の未来を切り拓いていくことを目指している。刑法の全面改正は、この激動の中で最も重要な課題の一つである。我々蜂起は、この改正に對決し、日本の未来を切り拓いていくことを目指している。」

先づフアンスによる 刑法改正の現局面

フアンスによる刑法改正の現局面は、国際法と国内法の調和を図る必要がある。フアンスは、国際法の原則に基づき、刑法の改正を進めている。この改正は、個人の自由と権利を保護することを目的として行われている。我々蜂起は、フアンスのこのような姿勢を高く評価し、その発展を願っている。

法制審三月答申粉碎

法制審の三月答申は、日本の未来にとって重大な脅威である。この答申は、軍産学複合体制の強化を促進し、個人の自由と権利を脅かすものである。我々蜂起は、この答申を粉碎し、軍産学複合体制の解体を要求している。国家の発展は、科学技術の進歩と個人の自由と権利の保護の上に成り立つべきである。

2・28 決起集会貫徹

2・28 決起集会は、日本の未来を切り拓いていくための重要な闘争である。この集会は、個人の自由と権利の保護を目的として行われ、大きな反響を呼んでいる。我々蜂起は、この集会を貫徹し、日本の未来を切り拓いていくことを目指している。

破防法弾圧体制に抗し

破防法弾圧体制に抗し、日本の未来を切り拓いていく。破防法は、個人の自由と権利を脅かすものである。我々蜂起は、この弾圧体制に抗し、個人の自由と権利の保護を要求している。

3.22 病院長アマメを徹底 して糾弾せよ 第11回公開

病院長アマメの徹底して糾弾せよ、第11回公開。病院長アマメは、個人の自由と権利を脅かすものである。我々蜂起は、この糾弾を徹底し、個人の自由と権利の保護を要求している。



第10回公開、大石アマメ糾弾の強固な意志統一（日比谷公園）

3.12-26 法制審三月答申粉碎 2.28 決起集会貫徹

3.12-26 法制審三月答申粉碎、2.28 決起集会貫徹。この闘争は、日本の未来を切り拓いていくための重要な闘争である。我々蜂起は、この闘争を貫徹し、個人の自由と権利の保護を要求している。

破防法弾圧体制に抗し

破防法弾圧体制に抗し、日本の未来を切り拓いていく。破防法は、個人の自由と権利を脅かすものである。我々蜂起は、この弾圧体制に抗し、個人の自由と権利の保護を要求している。

鉄の戦線 No.4

定価 500円

絶賛発売中

- I 党・軍の政治組織総括と方針
 - 党軍組織論の総括と方針
 - 先武闘の要なる展開のために
 - 国際国内無敵情勢と任務および他党派批判
- II 蜂起へむけた運動論と組織論
 - 労働戦線・医家戦線・反弾圧戦線
 - 学生戦線・保安処分戦線・軍軍行動
- III 共産主義思想で党を武装せよ
 - スターリン主義と日本型反スター主義の解体
 - 中国共産党に対する我々の基本的態度
 - 国際主義と民族問題

全国書店、蜂起社に取扱い

求釈明に突入

三兵士第三回公開

真岡爆弾

この闘争は、日本の未来を切り拓いていくための重要な闘争である。我々蜂起は、この闘争を貫徹し、個人の自由と権利の保護を要求している。

世界暴力革命論

著者 二橋 定八

定価 八百円

目次

- 序文
- 第一篇 方法論
 - 第一章 普通本質論
 - 第二章 資本論の原理的展開
 - 第三章 「宇野理論」批判
 - 第四章 帝国主義崩壊の原理論
- 第二篇 史的戦略基礎論
 - 第一章 マルクスの世界同時革命論
 - 第二章 帝国主義への移行と世界戦略
 - 第三章 過渡期社会と世界プロレタリア
- 第四篇 革命軍事戦略論序説
 - フランキ・マルクス・レーニン
 - ローザ・ルクセンブルグ・レーニン
 - 10・8・10・21 東京大闘争

TEL 四四六〇八三三 振替東京二二二